

各 位

会社名 株式会社 栄 電 子
 代表者名 代表取締役会長 染谷 英雄
 (JASDAQ・コード7567)
 問合せ先 取締役経理部長 津田百子
 電話 03-6385-7240

2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日に公表した2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日~2019年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年3月期通期業績予想につきまして、最近の販売状況の動向を考慮し、下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

(百万円未満切捨)

1. 業績予想値と実績値の差異について

1) 2020年3月期第2四半期累計期間 連結実績値(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想値(A)	百万円 3,033	百万円 66	百万円 68	百万円 52	円 銭 10.33
実績値(B)	2,781	35	34	25	5.03
増減額(B-A)	△252	△30	△33	△26	—
増減率(%)	△8.3	△45.7	△49.4	△51.3	—
(ご参考)前年同期実績 (2019年3月期第2四半期累計)	3,122	75	88	69	13.76

2) 2020年3月期第2四半期累計期間 個別実績値(2019年4月1日~2019年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想値(A)	百万円 2,730	百万円 55	百万円 44	円 銭 8.71
実績値(B)	2,560	39	24	4.73
増減額(B-A)	△169	△16	△20	—
増減率(%)	△6.2	△29.5	△45.7	—
(ご参考)前年同期実績 (2019年3月期第2四半期累計)	2,813	73	60	11.89

2. 通期業績予想の修正について

1) 2020年3月期 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想値 (A)	百万円 6,408	百万円 185	百万円 186	百万円 138	円 銭 27.34
今回予想値 (B)	5,641	82	71	58	11.50
増減額 (B - A)	△767	△103	△114	△80	—
増減率 (%)	△12.0	△55.5	△61.6	△58.1	—
(ご参考)前期連結実績 (2019年3月期)	5,929	124	134	105	20.71

2) 2020年3月期 個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想値 (A)	百万円 5,800	百万円 163	百万円 123	円 銭 24.36
今回予想値 (B)	5,200	77	53	10.60
増減額 (B - A)	△599	△85	△70	—
増減率 (%)	△10.3	△52.2	△56.6	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	5,370	117	95	18.81

3. 差異及び修正の理由

当第2四半期累計期間の業績について、売上高は、当社グループの主力市場である半導体製造装置関連顧客を中心に、連結・個別とも期初の予想を下回りました。利益面では、減収による利益の減少のほか、個別においては、持分法適用子会社への出資金について、現在の業績等を勘案した結果、帳簿価額に対して実質価額が著しく下落したため、特別損失に關係会社出資金評価損8百万円を計上し、連結においては、営業外費用の持分法投資損失が増加したことなどから、前回の予想を下回りました。

通期の業績については、第2四半期までの実績及び最近の業績動向を勘案した結果、第3四半期以降に増加すると見込んでいた半導体製造装置関連顧客を中心とした売上高が、期初の想定を下回る見通しであることから、連結・個別とも前回予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上